

# 2021 年度事業計画

2021 年 4 月

学校法人 桑沢学園

# 目次

■ 基本方針 .....	2
■ 学校法人桑沢学園の主な事業計画 .....	3
■ 東京造形大学の主な事業計画 .....	8
■ 専門学校桑沢デザイン研究所の主な事業計画 .....	17

# 基本方針

学校法人桑沢学園では、「桑沢学園 中期計画 (Road to 2025:2021-2025)」を基本方針とし、本事業計画に基づき、各実施項目の実行に努めます。

## 桑沢学園 中期計画(Road to 2025:2021-2025)

### 経営理念

持続可能な経営による造形教育の社会寄与

### 建学の精神

『造形』教育の探求＝社会・人間・精神と実用

東京造形大学 「社会をつくり出す創造的な造形活動の探究と実践」

桑沢デザイン研究所 「未来へ向かっての人間の精神的・物理的両面からの要求に応える人材育成」

### 中期テーマ

1. 表現を通じて私と他者を発見する造形教育の実践
2. 対話が生まれる自由闊達な空間づくり
3. 教育成果の社会発信と知識循環
4. 多様な価値観を基盤にした仕事環境づくり
5. 社会変動に迅速に対応するリスク管理

# 学校法人桑沢学園の主な事業計画

安定的かつ持続的な経営・運営を行うために、財政健全化（財政基盤の強化）策に取り組み、収支の安定化に努めます。また、基本政策の策定、ブランド戦略と情報発信の強化、リスクマネジメント体制の強化等に取り組み、戦略的な経営・運営に努めます。

- 計画的な財政運営
- 収入財源の多様化
- IT化推進による業務効率化
- 経営のガバナンス改革
- 教学組織の意思決定・運営体制の強化
- 中期計画に基づく戦略的経営
- キャンパス整備マスタープランの策定
- SD活動の推進
- 人事考課制度の導入の検討
- 労務管理体制の強化
- 学園運営に関する情報公開の促進
- コンプライアンスの推進
- リスクマネジメント体制の強化

## ■ 計画的な財政運営

安定的かつ持続的な財政運営を目指し、以下を実施します。

実施事項	実施内容	
基本金組入計画の立案	第2号基本金	東京造形大学 彫刻棟（11号館）建替計画 組入：2017年度～2020年度 年5億円 20億円 2021年度～2026年度 年1億円 5億円 合計25億円
	第3号基本金	奨学資金 組入期間：2017年度～2025年度 組入額：年1億円 総額33億円（積立残高28億1,300万円） 基金の運用益の一部（3,000万円）を奨学資金として運用
		学事振興資金 総額3億円を運用 基金の運用益の一部（300万円）を学事振興資金として運用
資産運用・蓄積計画の立案	減価償却 引当特定資産	年3億円積立 （減価償却累計額114億8,700万円、積立残高56億700万円） <sup>1</sup>
教職員の人件費計画 （雇用計画）の立案	人件費比率 <sup>2</sup> 50%程度を想定した雇用計画を立案	

<sup>1</sup> 2019年度決算値

<sup>2</sup> 経常収入（教育活動収入計+教育活動外収入計）に占める人件費の割合

## ■ 収入財源の多様化

以下のとおり、外部資金の獲得強化を図ります。

### 1. 補助金

以下の補助金の申請を行います。また、この他にも申請可能な補助金制度を調査し、獲得に努めます。

部門	区分	名称	内容	
大学	私立大学等 経常費 補助金	一般補助	専任教職員数及び学生数を基に、学生定員の管理状況や学生生徒等納付金の教育研究経費等への還元状況等に応じて交付される補助金	
		特別補助	授業料減免 事業等支援	災害罹災学生等に対する学生納付金減免に対する補助金
	八王子市による補助金	結核予防費 補助金	定期結核健康診断の費用に対する補助金	
研究所	東京都 による 補助金	私立専修学校 教育環境整備費 助成事業	自己点検・自己評価に対する補助金	
		私立専修学校 教育環境整備費 助成事業	コンピュータ室一式に対する補助金	
		結核予防費 都費補助金	定期結核健康診断の費用に対する補助金	

### 2. 寄付金

教育研究基盤を更に強力に構築していくために、「教育振興基金」（寄付金）の募集活動において、以下の取組みを実施します。

- (1) 入学式、卒業式等のステークホルダーが集まる会場で、寄付金趣意書を配付します。
- (2) コロナ禍の収束状況をみながら、高額寄付者に対するトップセールス（理事長による御礼訪問）を再開します。

## ■ IT化推進による業務効率化

IT化推進による業務効率化を図るため、以下を実施します。

### 1. Web給与明細の導入検討

IT化を推進し業務効率化を図るため、Web給与明細の導入を引き続き検討してまいります。

### 2. 業務フローの見直しによる効率化

給与及び調達申請等業務フローを見直し、IT化導入による効率化の検討を行います。

## ■ 経営のガバナンス改革

頻繁に行われる種々の法令改正の内容を受け、諸規程の整備・公開等の必要な施策を進めます。

## ■ 教学組織の意思決定・運営体制の強化

教学組織の意思決定・運営体制の強化に向け、教学に関するガバナンス・コードを策定します。

## ■ 中期計画に基づく戦略的経営

中期計画に基づく戦略的経営を行うため、以下を実施します。

### 1. 中期計画に基づく計画立案

中期計画に基づき、事業計画・予算計画を立案することで、主体的に改革を推進します。

### 2. 「管理職ミーティング」の実施

事務部門（各部署の責任者）の情報共有、意見交換の機会として、「管理職ミーティング」を年1回実施します。

### 3. 中期計画のブラッシュアップの実施

2020年度に策定した2021年度からの中期計画について、計画の進捗状況、社会情勢の変動状況等をみながら、毎年度、ブラッシュアップを行います。

## ■ キャンパス整備マスタープランの策定

以下の計画立案に向けた取り組みを実施します。

実施校	計画の内容	備考
大学	11号館(新彫刻棟)運用方法検討	第2号基本金組入計画（理事会承認） 彫刻専攻領域だけでなく、全専攻領域の学生が使用できる作業スペースとしても運用する方針
研究所	空調設備の計画的入替	設置後17年が経過し、空調機の故障が目立つようになった。コロナ禍において空調に関する学内意識が高まっており、また補修用部品の製造も停止されるため、年度ごとに計画的に新規入替を行う。

## ■ SD活動の推進

職員の能力及び資質向上のために、以下のSD<sup>3</sup>活動を組織的に展開します。

目的	実施校	実施項目	対象者	実施内容
高度専門知識の修得	学園	新人研修	新入職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新任職員研修（規程等に関する学内研修）</li> <li>・ 学校職員基礎講座</li> <li>・ 学校コンプライアンス講座</li> </ul>
		ハラスメント防止研修会	全教職員	・ 教職員のハラスメントに対する理解の促進
		自己啓発研修費助成制度	全職員	・ 個々の職員が行う自己啓発研修への助成
	大学	日本私立大学協会主催研修	事務局長 部課長 クラス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局長相当者研修会</li> <li>・ 部課長相当者研修会</li> <li>・ 学生生活指導主務者研修会等</li> </ul>
	学園	業務マニュアル	全職員	・ 各業務の概要・手順書・年間予定表を最新の状況に更新し事務局内で共有
		職位等に応じた研修制度	全職員	・ 職位や経験、業務内容に応じた研修
人事制度改革	学園	自己管理シート	全職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年度目標等を報告（年度始）</li> <li>・ 所属長による課員との業務面談の実施</li> <li>・ 年度目標等に対する進捗・達成状況の把握</li> </ul>

### 1. 職位等（管理職・中堅・若手等）に応じた研修制度の導入

2020年度は管理職向けの評価者研修を実施しましたが、他の職位についても、個々の職員が必要とする知識・技能の習得を促進するために、職位や経験、業務内容に応じた研修を実施します。

## ■ 人事考課制度の導入の検討

客観的な業績・能力評価に基づいた適切な職員配置や昇任人事等を行うために、専門機関が提供する「人事・評価制度構築支援サービス」を活用する等し、本学園に適合する人事考課制度の導入に向けた検討を進めるとともに、制度に即した考課者研修等を実施します。

<sup>3</sup> SD (Staff Development) : 職員の資質向上のために実施する研修等の取組みの総称

## ■ 労務管理体制の強化

---

労務管理体制の強化に向け、以下を実施します。

### 1. 労務管理の適正化・迅速化

雇用関連法令の改正への迅速な対応、並びに労務管理担当者の業務の効率化を図るために、労務管理システムを運用しておりますが、随時、法改正に対応した必要な改修を行います。

### 2. 労働環境の改善

種々の法令改正に対応するため、関連規程の整備を進めます。

## ■ 学園運営に関する情報公開の促進

---

教育機関としての社会的説明責任を果たすとともに、ステークホルダーからの信頼獲得に努めるために、以下を学園公式Webサイトで公開します。また、私立学校法改正の内容に基づき、情報公開を促進します。

- ・ 「中期計画」
- ・ 2020年度事業報告・決算報告
- ・ 2021年度事業計画・予算計画

## ■ コンプライアンスの推進

---

法令遵守の徹底及び教職員の意識向上を図るため、以下を実施します。

### 1. 内部監査の実施

学内業務が法令及び学内規程を遵守して行われているか、内部監査を実施します。

### 2. コンプライアンスの推進に向けた環境整備

2020年度よりコンプライアンス室を設置した他、経営層や教職員の意識・能力の向上に向け、コンプライアンスの推進に関する取り組みを検討します。

## ■ リスクマネジメント体制の強化

---

学生や教職員の安全を確保するため、以下を実施します。

### 1. 防災の強化に向けた取り組み

災害時の対応や避難場所・避難経路を確認するために、東京造形大学、専門学校桑沢デザイン研究所それぞれにおいて、避難訓練を実施します（年1回）。



# 東京造形大学の主な事業計画

デザイン及び美術領域の専門教育機関として、その専門教育の独自性及び特徴を明確にした「教育改革」に取り組み、高等教育機関としての「教育」、「研究」、「社会貢献」それぞれの機能を最大限に発揮するための施策を展開します。

- 学生募集の強化
- キャリア支援の強化
- 教育力の強化
- 研究の研鑽
- 学生サポートの充実
- 国際交流の推進
- 社会連携・貢献の強化
- ブランド戦略の強化
- キャンパス整備
- 自己点検・評価の取組み

## ■ 学生募集の強化

学生募集の強化に向け、以下を実施します。

### 1. 学生募集活動

感染症拡大の防止策を十分に講じた上で、以下の対面活動を重視した学生募集活動を実施します。

実施項目		実施内容
学外活動	高校内ガイダンス、模擬授業、体験授業等	高校1～3年生を対象とした学校説明会の実施
	予備校内説明会、ワークショップ等	予備校生及び予備校講師に向けた説明会及びワークショップの実施
	進学相談会	(株)さんぼう等の業者主催の進学相談会(ブース形式)への参加
学内活動	大学見学	見学希望者へ向けた学校案内(個別対応)
	高校団体による見学会	美術コースを設置する高校による見学会への対応
	専攻領域説明会	6月に開催予定
	オープンキャンパス	7月に開催予定

## 2. 広報機能の強化

- (1) 広報用の記録撮影（年8回実施予定）  
広報用素材の充実を目的として、学内外における本学関連の活動やイベントのプロカメラマンによる撮影を実施します。
- (2) プレスリリース配信代行業者利用による情報の発信  
外部業者のネットワークを活用した情報の拡散により、学内外における教育研究活動の成果を広く発信しさらなる認知度の向上を図ります。
- (3) 各広告媒体の活用による広報
  - ・ 交通、新聞、雑誌、Web等各広告媒体の特性を考慮し、訴求力のある媒体への広告出稿を行い、本学への興味関心及び認知度の向上を図ります。

## 3. 一般選抜入学試験「共通テストB方式」の拡充

一般選抜入学試験で大学共通テストB方式による選抜を行う専攻領域にデザイン学科インダストリアルデザイン専攻領域を加え、志願者数の増加を図るとともに、多面的・総合的に入学者を選抜します。

## 4. 一般選抜入学試験デザイン学科の新実技試験の周知

多様な志願者・入学者の確保を目的として、2021年度入試で新設したデザイン学科の実技試験「発想力」について、学生募集広告や進学相談会での告知などを通じて、普通科や工業科の高校生（高校の授業や美術予備校などでデッサンや平面構成の指導を受けていない高校生）に対して更なる周知を図ります。

## ■ キャリア支援の強化

キャリア支援の強化を図るため、以下を実施します。

### 1. キャリアデザイン科目（正課内）履修の促進

2018年度からの教育課程で開設している「キャリアデザイン科目」について学生の履修を促進するために、掲示物やキャリア支援イベントでの告知などを通じて周知します。

### 2. キャリア開発支援プログラム（正課外）の実施

学生のキャリア関連イベント参加を更に促進するために、過年度のイベントの開催日時や開催時期を検証し、年間の開催計画を変更します。また、イベントの内容や効果を勘案した上でオンラインと対面での開催を併用し、より効果的なイベント運営を行います。前年度に引き続き、低学年（学部1、2年生）を対象としたセミナーを、外部講師を招いて年6回程度実施します。

実施項目	実施内容
就職対策講座	エントリーシート対策講座、自己分析・マナー・面接対策講座、プレゼンテーション対策講座、SPI試験対策
ポートフォリオ対策講座	ポートフォリオ基礎講座、ポートフォリオ閲覧会等
企業研究セミナー	広告・ゲーム・アニメ業界等企業研究セミナー等
資格検定	TOEIC IPテスト
低学年向け就職講座	学部1、2年生を対象としたキャリアデザイン講座

### 3. キャリア支援室・キャリアサポートの活用促進

大学Webサイトにおける就職課及びキャリア支援に関する掲載内容の充実を図るとともに、CampusNetでのイベントや求人票に関する情報提供を行います。

また、オンラインによる就職相談やWebからの資料（ポートフォリオ等）閲覧申請など、インターネットを活用したキャリア支援体制を整備し、学生に対して一人ひとりの学年や就職活動状況に応じた助言・サポートを行います。

## ■ 教育力の強化

---

教育力の強化を図るため、以下を実施します。

### 1. 教育課程改革

2018年度に改編した教育課程を、継続して運用します。また、具体的な取り組みとして、以下を実施します。

- ・ 2021年度に完成年度を迎えるため、2022年度にかけて教育課程全体の検証を進めます。
- ・ 入学時に実施する英語プレイスメントテストの効果の検証を学部共通合同部会とともに実施し、必要に応じて2022年度の運用改善を図ります。
- ・ 教職課程の認定基準変更（教職課程再課程認定）に伴い、その基準に沿った教職課程の運用

### 2. 学力の保証・教育の質保証

#### (1) ルーブリック制度の導入推進

2017年度に導入したルーブリック<sup>4</sup>の導入科目を拡大します。

#### (2) 授業評価アンケートの実施

授業の改善に向け、授業評価アンケートを継続実施します（前期・後期各1回）。アンケート結果を担当教員へ開示し、授業評価の低い教員には改善報告書の提出を要請します。

#### (3) 遠隔授業の効果的な実施

2020年度に行った遠隔授業の長所・短所を検証し、教育実践の方法として効果的な遠隔授業の利用を検討します。

#### (4) Google Workspaceの利活用

遠隔授業で利用したGoogle Workspace（IDG Suite）を、資料等の共有、オンラインでのコミュニケーションなどに活用します。

#### (5) クリエイティブスタディガイドの配付

学修のガイドブックであるクリエイティブスタディガイドを新入生に配付し、学修の動機付けと導入教育の補完を図ります。

---

<sup>4</sup> 学修における達成水準を数段階に分けて記述し、学習の達成度を判断する基準を示す教育評価法

### 3. FD活動の実施

以下のFD活動を実施するとともに、受講促進に向けた取り組みを行います。また、FD活動を教員評価制度に反映する仕組みを検討します。

実施項目	実施内容
学生対応に関する講演会	本学カウンセラーによるメンタルヘルスに関する講演会
キャンパス・ハラスメント防止研修会	外部講師による研修会
授業評価アンケート	アンケート結果を担当教員へ開示、授業評価の低い教員は改善報告書を提出
FD研修会	授業の質向上、教員の資質向上に資する研修会を実施
FD授業参観	専任教職員が、他の専任教員の授業を参観し、自身の業務に役立てる
博士後期課程意見交換会	博士後期課程の運営に関する意見交換・大学院研究科長による講義

### 4. 学修成果の発信強化

- (1) 博士審査展の改善  
審査体制の課題について、改善を検討します。
- (2) ZOKEI展（卒業制作展）及び博士審査展の開催  
学修の集大成を発表する場として、キャンパスでの展示・来場見学を3日間実施します。2020年度の経験に基づき、Webサイトでの一般公開を併用します。
- (3) 東京五美術大学連合卒業・修了制作展の開催  
美術領域の学修成果を発表する場として、国立新美術館で開催します。2020年度の経験に基づき、Webサイトでの一般公開を併用することを幹事校に提案します。

## ■ 研究の研鑽

研究の研鑽を図るため、以下を実施します。

### 1. 「教育研究助成金制度」の運用

学術研究の更なる推進を図るために、研究助成枠を継続的に運用し、以下の事業を実施します。

研究テーマ	実施者 (専攻領域)
立体物のデジタルアーカイブ技法とデジタルメディア技術を活かした体験デザインについて	栗野 由美 (メディア)
舞台芸術の映像アーカイヴ:日本のマイム研究	飯名 尚人 (映画・映像)
教育・研究の実践としての展覧会パッケージの作成	池上 英洋 (教養科目)
アジアのシティ・スケープの研究	上田 知正 (室内建築)

東京造形大学における特別講義アーカイブスの作成とその教育と研究への利活用に関する予備的研究(3)	小出 正志 (アニメーション)
創造主義を支えるシステムの顕在化	小林 貴史 (教職課程)
制作研究の本分である自作絵画制作研究とその展示発表	近藤 昌美 (絵画)
複数に結び合う「絵」としての世界像。その探求へ:ジル・ドゥルーズ「差異」、ジャック・デリダ「差延」、ミシェル・セール「混合体」の相互性と総合性検討への試み	清水 哲朗 (絵画)
現代美術ギャラリー「ギャラリー・シマダ」の調査とアーカイブ作成	末永 史尚 (絵画)
自然景観の原初性が想起させる人間の野生との共時性について	中里 和人 (写真)
読書推進活動を通じた社会ネットワークの形成手法に関する研究	沼田 真一 (教養科目)
『美術館を語る 東京造形大学 学芸員課程連続レクチャー』(仮題)の出版	藤井 匡 (教養科目)
教育研究の一環として都心の画廊での本学学生が参加する展覧会「往復書簡 Vol.3」を企画する	宮崎 勇次郎 (絵画)
国際協力分野における造形美術の普及のための書籍出版「ARTで国際協力 ―世界中に『どこでもドア』をつくろう!」(仮)	山田 猛 (教職課程)

## 2. 地域に根差した研究の推進

八王子市及び地域社会との連携を強化し、教育研究や地域貢献につながる取り組みを継続して実施します。実施が決定されている事業は以下のとおりです。

事業名	委託元
八王子高齢者支援団体PR動画制作	八王子市
八王子彫刻図録原稿執筆制作研究	八王子市
NENGA DESIGN COMPETITION	(株)山櫻
東京2020大会に向けたアートプロジェクト	八王子市

## 3. 学術機関リポジトリ<sup>5</sup>による研究成果発信

国内外の大学及び研究機関との積極的な共同研究を推進するために学術機関リポジトリにて、「東京造形大学研究報」、「博士課程学位論文の内容及び審査結果の要旨」等を公開します。

<sup>5</sup> 研究機関が論文等を電子的形態で集積・保存・公開するために設置する電子アーカイブシステム

#### 4. コンプライアンス研修会及び科研費説明会の実施（9月に実施予定）

研究活動における不正行為への対応等に関するガイドラインを踏まえた研修会及び科学研究費の獲得を図るための申請方法等に関する説明会を実施します。

### ■ 学生サポートの充実

学生サポートの充実を図るため、以下を実施します。

#### 1. 教学支援システム「GAKUEN」の安定的な運用

2018年度より導入、稼働している「GAKUEN」の安定運用を図るため、担当者のスキルアップ、運用担当の十分な引継ぎを実施します。また、開発ベンダーであるメーカーのSEの支援サービスを活用し、抽選処理や成績査定、年次更新等のシステム処理のサポートを依頼します。

#### 2. 全学的なサポート体制の構築

全学的なサポート体制の構築を図るために、以下を実施します。

実施項目	実施内容	実施予定
障害のある学生に対する 学内支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ボランティア学生の確保</li><li>・ 合理的配慮の実施学生への継続的支援</li><li>・ 福祉車両レンタル 等</li></ul>	随時
学生相談への対応強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ カウンセラー・ミーティング (カウンセリングルームとの情報交換会)の実施</li></ul>	2回
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 精神科医との校医契約継続</li></ul>	月3回来校
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医務室およびカウンセリングルームの環境整備</li></ul>	随時
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ カウンセリングルーム開室日程の拡充</li></ul>	随時
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ オンラインによるカウンセリング体制の整備・強化</li></ul>	随時
リテンション率の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 休学・退学希望者と教員の面談</li><li>・ 英語プレイスメントテストの結果に基づく クラス分けとクラス別ミーティングの実施</li><li>・ 保護者への出欠情報提供 (Campus Net)</li><li>・ 連続欠席学生への職員からの電話連絡</li><li>・ カウンセリングルーム等との連携</li></ul>	随時

#### 3. 被災学生支援

東日本大震災等の災害救助法適用地域に居住する世帯の学生を対象として、最短の修業年限の間、被災状況に応じ継続的に学費を減免します。

災害救助法適用地域出身の学生への被災状況の問い合わせ・確認と必要なサポートを実施します。

## ■ 国際交流の推進

---

国際化の推進に向け、以下を実施します。

### 1. 留学生受入体制の強化

協定校から受け入れる留学生の学修面、生活面ともにより充実したものとなるよう、受け入れる各部会との協力体制を再構築し、改善に努めます。

### 2. 外国人留学生サポート体制の強化

2018年度から開講した交換留学生向けの授業科目（一般学生も履修可能）について、交換留学生がさらに履修をしやすい開講日、開講時間とすることを旨とし、現在付与している単位数を増やし、修学希望が多い日本語を授業科目に加えることで、協定校が留学時に必要とする単位を交換留学生が取得できるよう、検討、調整します。

また、在学中の在留資格について問題が生じないように、適切なサポートを図ります。

## ■ 社会連携・貢献の強化

---

社会連携・貢献の強化に向け、以下を実施します。

### 1. 接続教育プログラムの充実

小・中・高・大連携事業の一環として、各学校からの依頼に応じて実施している「接続教育プログラム」について、内容の改善に向けた検討を行い、2021年度の新プログラム開設を目指します（現在のプログラム数：14）。

### 2. 知的財産を活用したビジネスモデルの構築

教員から承継した意匠を活用し、知的財産の利活用をサポートする団体や企業等協力者を得つつ、美術系大学ならではのビジネスモデルを構築します。

### 3. 地域のコンソーシアムとの連携による社会貢献活動

加盟する「大学コンソーシアム八王子」や「さがまちコンソーシアム」と連携した社会貢献活動を推進します。

## ■ ブランド戦略の強化

---

ブランド戦略を強化するため、以下を実施します。

### 1. ブランドイメージの構築

#### (1) PR会社との協働

本学のリブランディング計画及び広報活動計画立案に向けた検討を、PR会社との協働により行います。本学独自のタグライン<sup>6</sup>制定に伴い、各種ステーションナリーへの展開や専攻領域紹介動画の制作など、タグラインを活用した広報展開を継続し、学内外に対し本学のブランドの浸透を図ります。

---

6 企業やブランドが持つ価値をわかりやすく伝えるためのフレーズ

(2) SNS (Social Network Service) の活用

本学の知名度向上を図るために、以下の公式アカウントを通して、在学生・卒業生・教員の活動を学内外に発信し、本学に対するブランドイメージの構築を図ります。

- ・東京造形大学公式 Facebook
- ・東京造形大学附属美術館公式 Facebook
- ・東京造形大学公式 Instagram
- ・東京造形大学附属美術館公式 Instagram
- ・東京造形大学公式 Twitter
- ・東京造形大学附属美術館公式 Twitter

(3) YouTube 公式チャンネルの活用

公開中の YouTube 公式チャンネルにイベント等の動画を随時追加し、本学への興味関心の向上を図ります。

## 2. 展覧会・ワークショップの開催

美術館にて以下の展覧会を開催します。

名称	期間	内容
東京造形大学 第7回助手展	4月1日 ～4月23日	教育運営や学修のサポートを行う助手による展覧会
ZOKEI 賞 選抜作品展	5月17日 ～6月23日	2020年度の卒業制作展で、ZOKEI 賞を受賞した優秀作品の中から、美術館で選抜した学生の作品を展示
浅葉克己展	9月6日 ～10月5日	桑沢デザイン研究所前所長でアートディレクターの浅葉克己氏の展覧会
高橋淑人教授 退職記念展	10月25日 ～11月27日	2019年度に本学を定年退職した教員の退職記念展 美術学科絵画専攻領域高橋淑人教授の作品を展示
森まさあき教授 退職記念展 (CS ギャラリー)	11月1日 ～11月27日	2020年度に本学を定年退職した教員の退職記念展 デザイン学科アニメーション専攻領域森まさあき教授の作品を展示
博士審査展	12月6日 ～12月18日	博士後期課程の研究成果発表展



## ■ キャンパス整備

学修環境及び学生生活環境の改善及び充実、ICT環境の整備を図るために、以下を実施します。

目的	実施項目	備考
学修 環境整備	教室の仕様変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>7-403教室PC用デスク・チェア交換、連結型パーティション設置</li> <li>7-405教室PCデスク交換・床タイル上貼り、電源配線、LAN配線</li> </ul>
	サーバ室	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業用印刷管理サーバPCの更新</li> </ul>
	機材の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>7-401.403教室、8-302教室の授業用PC更新(61台)</li> <li>アニメーション授業作画デッサン用iPadAir更新(48台)</li> <li>7-105教室、8-104教室へ3Dモデリングマシン更新及び導入</li> <li>Adobe 包括契約、StudentOption契約更新</li> </ul>
	個別空調の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>7号館3階実習室</li> </ul>
	排水・防水工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>1号館4階ラウンジ防水工事</li> </ul>
	その他設備更新 (老朽化対応)	<ul style="list-style-type: none"> <li>空冷チラーユニット更新(5号館)</li> </ul>
ICT環境 の整備	無線LAN AP 増設・更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>1～13号館にて接続可能エリア拡充</li> </ul>
その他、日常的な清掃・整備		

## ■ 自己点検・評価の取組み

自己点検・評価の取組みとして、以下を実施します。

### 1. 自主的・自律的な点検・評価活動

自己点検・評価委員会において自主的・自律的な点検・評価を組織的・系統的かつ継続的に実施し、本学における教育・研究水準の維持・向上を図ります。

### 2. 大学機関別認証評価結果への対応

2020年度大学機関別認証評価の評価結果における指摘事項への対応を自己点検・評価委員会で審議のうえ、関係部門・委員会での対応策の検討を指示し、改善に繋がります。

# 専門学校桑沢デザイン研究所の主な事業計画

デザイン領域の専門教育機関として、その専門教育の独自性及び特徴を明確にした「教育改革」に取り組み、高い専門的能力と、複雑化した今日の社会状況に対応できる創造的表現力を合わせ持ったデザイナーを育成するための施策を展開します。

- 学生募集の強化
- キャリア支援の強化
- 教育力の強化
- 研究の研鑽
- 学生サポートの充実
- 国際交流の推進
- 社会連携・貢献の強化
- ブランド戦略・情報発信の強化
- キャンパス整備

## ■ 学生募集の強化

学生募集の強化に向け、以下を実施します。

### 1. 学生募集活動

以下の学生募集活動を実施します。

実施項目		実施内容
学外活動	学生による母校訪問	在校生が出身高校を訪問し、進路指導の教員や後輩へ本校の授業内容や学生生活等に関する説明を実施
	進学ガイダンス	高校内ガイダンス及び外部会場でのガイダンスへの参加
	外国人留学生対象のガイダンス	美術・デザイン系の教育を行う日本語学校の進学ガイダンスへの参加
学内活動	学内説明会	学内にて、オープンキャンパス及び学校説明会を実施。総来場者数目標1,800名
	オンライン個別相談会	Zoomを利用したオンライン個別面談
	学校見学	見学希望者へ向けた学校案内
	卒業生作品展	2月に開催予定 (来場者数:2016年度:3,566人、2017年度:4,200人、2018年度:4,328人、2019年度:コロナウイルス感染防止のため中止、2020年度:2,083人感染防止対策として、事前予約による人数制限を実施)
入学試験	WEB出願	WEB出願への移行

## 2. 広報機能の強化

高校生を対象とした従来の学生募集媒体だけでなく、インターネット広告や各種ソーシャルメディアを活用し、大学生や社会人に対するアプローチについても強化していく。

実施項目	実施内容
ソーシャルメディアを用いた広報の強化	Twitter、Instagram、Facebook、YouTube などのソーシャルメディアを用いた広範的な情報発信と、学生・卒業生などステークホルダーへの情報提供。
公式WEBサイトのコンテンツ強化	卒業生のインタビュー記事公開など、公式 WEB サイトに定期的に誘導するコンテンツを企画・更新していく。
外部媒体を利用した情報発信	クリエイションに関わる人々が利用するポータルサイトや、デザイン業界への就職を支援しているポートフォリオサイト、高校教員を対象とした雑誌などに、純広告だけではなく記事広告を掲載する。
SEO <sup>7</sup> ・MEO <sup>8</sup> 対策	外部業者を活用した SEO 対策及び MEO 対策。
接触者データの活用	システム導入によって、資料請求及びイベント参加のデータを有効に活用する。
「卒業生作品展」の広報強化	駅貼り広告(原宿駅)
	公式 web サイトでの紹介、公式 Facebook での紹介、特設 web サイトの設置
	VR サイトへの誘導を目的とした、WEB 広告の掲出

## 3. 外国人留学生対応

増加傾向にある外国人留学生の安定的な確保を図るため、以下を実施します。

- (1) 日本語学校教員に向けた冊子への情報掲載
- (2) 日本語学校内でのガイダンス参加
- (3) 日本語学校教員を対象とした説明会への参加

<sup>7</sup> SEO 対策 (Search Engine Optimization)  
Web 上の検索結果で、本校のサイトを上位に表示するために行う対策

<sup>8</sup> MEO 対策 (Map Engine Optimization)  
Web 上の検索結果で本校の位置をグーグルマップ上に表示させるために行う対策

## ■ キャリア支援の強化

キャリア支援の強化を図るため、以下を実施します。

実施項目	実施内容
キャリアカウンセリング	有資格者による個別の就職相談
就職セミナー	専門講師による就職活動のレクチャーの企画・実施 ※オンライン（ライブ配信、オンデマンド）
企業面談	内定企業や卒業生の在籍する企業、および新規または既存企業との面談（対面、オンライン）※企業との関係維持・企業情報の共有・蓄積
学内企業説明会	求人企業による学内での説明会（単独・合同） 求人の説明を聞くだけでなく、企業の採用担当者や現場のデザイナーと直に接することで業界についての理解を深める機会を提供する。
就職相談	就職希望者への架電による就職相談・進路調査の実施（年1 - 2回）。 応募書類等の添削指導の実施。
学内ポータルサイト 公式WEBサイトの改善	公式サイトおよび、KDSキャンパスネットの就職関連ページの内容充実。

## ■ 教育力の強化

複雑化した今日の社会状況に対応できるデザイン分野の人材育成を目的とした、教育を提供します。

### 1. 夜間部の教育課程改編

複雑化した今日の社会状況に対応できるデザイン分野の人材育成を目的とした専攻デザイン科（夜間部）を開設し、社会人が修学しやすい教育プログラムを提供します。

### 2. 遠隔授業の活用

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策、及び効率の良い教育効果を提供するため、対面授業と遠隔授業を組み合わせた授業運営を行い、より良い教育を提供します。

### 3. FD活動の実施

以下のFD活動を実施するとともに、受講促進に向けた取り組みを実施します。

実施項目	実施内容	実施予定回数
SNS対策講座	ソーシャルメディアリスク・コンプライアンス（炎上防止等）に関する外部講師による研修会	1回

#### 4. 教育成果発信のための事業

教育成果の発信に向け、以下の事業を実施します。

実施項目	実施者	開催予定時期
ファッションショー	ファッションデザイン専攻、 ファッションデザインコース	10、2月
卒業生作品展	総合デザイン科（昼間部）3年 デザイン専攻科（夜間部）2年	2月
附帯教育修了作品展	基礎造形専攻 基礎デザイン専攻	3月

### ■ 研究の研鑽

教員の研究支援制度を充実させ、研究活動の更なる推進を図るため、「研究助成金制度」（総額200万円）を設けています。

#### 1. 「研究助成金制度」の運用

2021年度の研究助成事業は以下の通りです。

事業名称	概要	実施者 (分野)
2018～2020年度までの3年間の教育研究助成金の成果を中心とした、椅子の研究展示	2018～2020年度までの3年間に渡り、教育研究助成金の支援を受け、アルミ製の椅子の研究を行ってきた。2021年度は今までの研究作品を展示する展示会を行う	大松俊紀 (SD 分野)
パッケージデザインに関わる研究(これからのパッケージデザイン)	これからパッケージデザインにはどのような事が考えられるのか、パッケージの役割や変化はどう考えられていくのか、パッケージデザインを通して調査と研究を行い、今後の教育への影響も考察	永沼真一郎 (VD 分野)
オートクチュールドレスの構造と、特殊素材の縫製技法の研究	特殊素材でオートクチュールのカクテルドレスを仕立て、市販のプレタポルテとの縫製技法と仕様の違いや、特殊素材の扱いなども研究	辺見小百合 (FD 分野)

#### 2. 教員の研究レポートの公開

教員の研究成果を取りまとめた研究レポートを刊行するとともに、公式Webページに掲載します。

## ■ 学生サポートの充実

---

学生サポート体制の充実を図るため、以下を実施します。

### 1. 高等教育の無償化制度への対応

高等教育の修学支援新制度の運用開始に際し、学生への適切な通知、連絡等を実施し、確実な運用を実施します。

### 2. 学生のメンタルケアの充実

- (1) 心理カウンセラーの人員を増員し、学生が相談しやすい体制を充実
- (2) 学校医による健康相談の実施

### 3. 学生情報統合管理システム「School Leader」の活用

- (1) 進路指導の充実  
「学生Webポートフォリオ管理機能」を活用し、学生の課題やポートフォリオの内容を教職員間で共有することで、進路指導の充実を図ります。
- (2) 学生データの一元管理  
従来別のシステムを用いて管理していた「入学前」、「在籍時」、「卒業後」の学生情報を一元的に管理し、入試種別ごとの学生の就学・就職状況や中退率等について調査します。これにより得たデータは、教育課程や広報戦略の改善に向けた検討に活用します。

## ■ 国際交流の推進

---

国際交流の推進に向け、以下を実施します。

### 1. バウハウス・デッサウ財団との連携

バウハウス・デッサウ財団の協力により、バウハウス・デッサウ校の建物見学、ワークショップの実施、学生寮の宿泊、市内名所見学等を通して、バウハウス教育の一端を体験するツアーを実施します（2022年3月下旬予定）。実施後には報告書を作成します。

## ■ 社会連携・貢献の強化

---

社会連携・貢献の強化に向け、以下を実施します。

### 1. 社会連携事業「渋谷みやげ」<sup>9</sup>の継続実施

渋谷区・障害者就労施設・本校の連携による新製品の開発事業「渋谷みやげ」（2016年度より実施）の継続と発展（事例の拡大）を図るために、活動に参画する学生を募集します。また、この活動をより多くの人に知ってもらうための企画を立案します。

---

<sup>9</sup> 渋谷区・障害者就労施設・桑沢デザイン研究所が連携し、「福祉×デザイン×テクノロジー」の組合せで渋谷区ならではのみやげ開発に取り組む事業

## ■ ブランド戦略 ・ 情報発信の強化

ブランド戦略と情報発信の強化を図るために、以下を実施します。

### 1. 教育の使命・目的の明確化

教育の理念・目的・育成人材像を明確化します。

### 2. 学校自己評価報告書、学校関係者評価報告書の公表

学則に則り、学校自己評価報告書及び学校関係者評価報告書を公表し、本校の取り組みを発信します。

### 3. 「卒業生作品展」・「教育成果作品展」の情報発信

学修成果を発表する場である「卒業生作品展」（総合デザイン科、デザイン専攻科）と「教育成果作品展」（附帯教育）に関する情報を学外に広く発信することにより、本校のブランド力を高め、学生募集の強化や企業からの求人数拡大を図ります。

### 4. 公式 Web サイト、SNS 等を用いた情報発信

公式 Web サイトや Facebook 等の SNS の更新頻度を上げ、授業の様子や課題作品の好評会、特別授業（著名なゲストによる講演等）の様子を随時発信します。

## ■ キャンパス整備

学修環境及び学生生活環境の改善及び充実を図るために、以下を計画的に実施します。

目的	実施事項	備考
学修 環境整備	無線LAN拡充、増速	・ 無線アクセスポイントのリプレイス、増設
	コンピュータ室更新	・ 第1、2コンピュータ室のパソコン、及びサーバのリプレイス
学生生活 環境整備	老朽化した校舎の修繕	・ 老朽化した空調設備の年次計画による入替
	設備更新・メンテナンス	・ 空調フィルター2種定期交換
	地下1階フロアの美化	・ 清掃強化、整理などにより、地下1階フロアの美化
その他、日常的な清掃・整備		